

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	都市景観形成事業				財務会計上の事業名	都市景観形成事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	1	1	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目1 総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	景観行政団体への移行、景観計画の策定、景観条例などの制定を行う。
めざす姿(目標)	良好な市街地景観を形成する。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	景観行政団体への移行
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	0	0	0		景観行政団体への移行	-	-	完了
主な内訳					景観計画の策定	-	-	完了
					景観条例の制定	-	-	完了
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	事業が開始していないため。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	事業が開始しておらず、改善の余地がないため。			
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
大阪府下では19の市町村が景観行政団体へ移行しており、各自治体ごとで独自の景観形成を行っている。美しい景観は、まちの魅力の一つになり本市としても、景観行政団体への移行が必要である。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
池田市の景観に関する関心を高めていく必要がある。	その他 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 市内の景観に対する関心を高めるようなイベント企画などを行いながら、計画策定を進めていく。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	景観保全事業				財務会計上の事業名	景観保全事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	1	2	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目1 総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	緑の景観に与える現状変更行為に対する指導を行う。
めざす姿(目標)	五月山の良好な景観を保全する。
事業の対象(誰を、何を)	景観保全区域内における事業者
事業の手段・方法(どのように)	五月山景観保全条例に基づく、現状変更行為の指導等
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	0	0	0		違反件数	0件/年	0件/年	0件/年
主な内訳					指導件数	0件/年	0件/年	0件/年
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	件数はあまり増えておらず、条例による規制や指導も適切に行っている。		
	地方債							
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	景観保全に最低限必要な経費であるため。			
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>①五月山景観保全区域内において、土地利用される際に指導するもの。 ②最近申請件数も少なく、墓地開発など新たな開発はない。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>五月山景観保全区域内において、大規模な墓地開発など市街地からの景観を脅かす行為が発生した場合、本条例での指導だけでは難しいケースもある。関係する他法令と連携して指導にあたる等有効な対策が必要となる。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後も引き続き、五月山の景観保全するために、墓地造成など開発者に対して、条例に基づく適切な審査・指導を行っていく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	五月山山麓・山間緑地保全事業				財務会計上の事業名	五月山山麓・山間緑地保全事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	1	3	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目1 総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	五月山山麓・山間部の緑地保全のため、山林所有者から申し出があれば、山林の寄付や買収など山林取得を行う。
めざす姿(目標)	五月山山麓・山間部の緑地を保全する。
事業の対象(誰を、何を)	市民と利用者
事業の手段・方法(どのように)	要綱による保全緑地の買収、市民活動による里山の保全と活用
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	0	0	0		山林買収面積	0㎡	0㎡	0㎡	
主な内訳				☆成果の達成状況					
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	・上記「達成状況」選択の理由	C.判断できない	A.有効的である(改善の余地がない)	A.効率的である(改善の余地がない)	
	地方債								
	その他()								
	うち受益者負担 B								
	一般財源 C								
一般財源比率 C÷A				☆事業は効率的に実施できているか	・上記「有効性・効率性」選択の理由	平成24年度以降は山林買収はないが、山林の寄付による山林取得をするなど、五月山の保全を目的に取得するなど民間業者による乱開発の防止に一定の成果を得られている。			
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>①要綱による保全緑地の買収、市民活動による里山の保全と活用。五月山山麓の開発などに注視し引き続き緑の保全に努める。 ②大規模な自然災害が多発している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>多くの私有地が存在する。所有者管理が困難になることで寄附の意向が増えてきている。維持管理費が増大する中、直接的な効果が見えにくい緑地保全事業の予算の確保が課題。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 申し出があれば、寄付や買収により五月山の保全に努める。市民にとっての必要性を十分検討した上で取組んでいく必要がある。大規模な自然災害が多発する一つの原因に里山管理ができずに、荒れ果てた山林の放置があるが、予算を確保し今後適切な自然林の維持管理が必要。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名		緑化推進事業				財務会計上の事業名	緑化推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号		3	5	1	4	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち					
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり					
	項目	項目1 総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進					

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市民参画による花いっぱい運動の推進や保存樹木の適正管理を促すため、管理助成を行う。
めざす姿(目標)	緑化を推進するとともに、緑を保全する。
事業の対象(誰を、何を)	池田市民、保存樹木等の所有者
事業の手段・方法(どのように)	植栽、草花・苗木の配布、保存樹木等管理用資材の配布
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	池田市緑の基本計画

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	事業費(千円) A	3,403	3,913					
主な内訳	消耗品費	1,989	1,999	1,900	花いっぱい運動花苗配布数	18,505株	-	20,000株
	原材料費	315	435	400	保存樹木指定数	60箇所	59箇所	59箇所
	委託料	100	831	600	保存樹林指定数	24箇所	24箇所	24箇所
	国・府支出金				☆成果の達成状況		B.順調に推移していない	
財源	地方債				・上記「達成状況」選択の理由	花苗の配布数が団体数の減少により減少。		
	その他(使用料、交付金)	733	736	738	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
	一般財源 C	2,670	3,177	3,162	・上記「有効性・効率性」選択の理由	花いっぱい運動は、地域コミュニティ事業と相まって市内に広まってきたが、近年は団体数の減少や縮小がみられ、結果、花苗配布数も減少している状況である。		
	一般財源比率 C÷A	78.5%	81.2%	81.1%				
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
①花いっぱい運動については、花いっぱい運動に携わる住民の高齢化により年々減少している。 ②平成30年度の大規模災害の経験をふまえ、池田市が指定している保存樹木については老木が多く、また所有者管理であることから管理が難しくなっており、指定廃止要望も増加している状況。	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
①花いっぱい運動については、参加者減少に対する対策が必要。 ②年数が経ち、老木化、大径木化しているために、保存樹木の適正な維持管理が難しくなっている。	現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 ①花いっぱい運動については、引き続き地域の団体と協働により、地域緑化を進めていくとともに、花いっぱい運動を紹介する場などPR活動を引き続き行っていく。 ②都市の緑化保全の観点から、所有者へは引き続き、樹木の適正管理を呼びかけていくが、所有者の意向も確認しながら危険木については指定解除も視野に入れて考えていく。

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	街路樹等管理事業				財務会計上の事業名	街路樹等管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	1	5	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目1 総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	電線にかかる枝の剪定や落ち葉の処理など、街路樹などの適切な維持管理を行う。
めざす姿(目標)	歩道の安全確保と市内の緑化を維持する。
事業の対象(誰を、何を)	街路樹等
事業の手段・方法(どのように)	(一財)池田みどりスポーツ財団に補助金を支出し、維持管理業務を実施している
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	21,539	19,939	0	樹木の伐採本数
主な内訳	補助金	21,539	0	
財源	国・府支出金			☆成果の達成状況
	地方債			
	その他()			
	うち受益者負担 B			
	一般財源 C	21,539	19,939	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%		☆目標達成のための有効な事業内容となっているか
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
樹木の伐採本数	9本	-	-
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	街路樹の適切な維持管理が出来ている。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	(一財)池田みどりスポーツ財団内の道路、河川、水路及びみどりの管理区分を廃止し、作業区分でまとめることにより日常管理や緊急時の対応等について、より効率的に作業ができる可能性がある。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>一般財団法人池田みどりスポーツ財団において、街路樹など適切な維持管理をしている。なお、街路樹のうち大径木もあり、昨今の大規模災害により倒木による被害も目立ってきている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>電線にかかる枝の剪定や落ち葉の処理など、街路樹の適正な維持管理が必要。また、大径木による倒木対策が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 人とみどりの共存・共生が必要であり、バランスのとれた適切な維持管理が必要。 公共施設の管理者が緑化の必要性を理解し、道路・公園など適切な維持管理に努めるよう、緑化の視点からの助言・指導が必要である。今後は、危険箇所を把握するなどして植え替えを進めていく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	五月山・桜植栽地整備事業				財務会計上の事業名	緑化事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	1	6	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目1 総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	五月山の緑の保全と緑化のため、五月山の草刈りなどを行う。
めざす姿(目標)	五月山の緑化の推進と緑の保全を図る。また、令和元～2年度より五月山緑地への観光客の回遊性を高め、まちの活性化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	五月山
事業の手段・方法(どのように)	適切な草刈り、活動団体への支援(草刈り)
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	810	2,420	2,500	五月山の草刈り面積	13,200m ² /年	13,200m ² /年	6,600m ² /年	13,200m ² /年
主な内訳	810	2,420	2,500					
植生管理委託料								
財源				☆成果の達成状況	A.順調に推移している			
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	五月山の活動団体を支援し、また適切な緑地保全をおこなっている。			
地方債								
その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	810	2,420	2,500	・上記「有効性・効率性」選択の理由	五月山の適切な緑地保全になっている。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>五月山の緑化保全のため、青年会議所などボランティア団体で構成する”市民の森をつくる会”の活動を市として支援している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>ボランティア団体の高齢化による活動範囲の縮小が懸念される。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 今後、引き続きボランティア活動団体の充実及びボランティア活動に対する支援を実施する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	緑化基金積立事業				財務会計上の事業名	緑化基金積立事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	1	7	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目1 総合的な自然環境・景観の保全と緑化の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	緑化基金の積立を行う。
めざす姿(目標)	積み立てた基金を適切に管理し、五月山の緑の保全とまちの緑化を推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市内の緑化施設、五月山
事業の手段・方法(どのように)	基金利息とみんなてつくるまちの寄付金(緑化寄附)、森林環境譲与税譲与金を緑化基金に積み立てる。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	2,743	7,845	8,523		積立金	2,743千円	7,845千円	—
主な内訳	緑化基金積立金	2,743	7,845	8,523				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	市内の緑化推進と五月山の保全に一定の成果が得られている。		
	地方債							
	その他(基金利子、寄付金)	2,743	3,847	23	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	一般財源 C		3,998	8,500	・上記「有効性・効率性」選択の理由	市内の緑化推進と五月山の保全などの財源となっている。		
一般財源比率 C÷A		51.0%	99.7%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和元年度より森林整備等の目的に国から森林環境譲与税が市に譲与され、五月山保全のため緑化基金に積み立てている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>森林整備等を目的に国より森林環境譲与税が市に譲与されているため、今後は森林環境譲与税譲与金を財源に、市としての用途などについて市庁内で調整が必要。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 積み立てた基金を適切に管理し、五月山の緑の保全とまちの緑化を推進する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	公園維持管理事業				財務会計上の事業名	公園維持管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	1	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	都市公園の適切な維持管理を行う。
めざす姿(目標)	適切な維持管理を行うことで、安心して利用できる公園づくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	都市公園
事業の手段・方法(どのように)	必要な土地を借地し、市民に対しての公園の提供及び維持管理
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	180,527	80,076	69,476	有償借地公園数	9箇所	8箇所	8箇所	☆成果の達成状況 A.順調に推移している	
主な内訳	土地借上料	17,683	17,666						17,670
	植栽管理委託料	90,815	35,107						26,500
	修繕料	70,374	20,280						22,358
財源	国・府支出金	9,883			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか ・上記「有効性・効率性」選択の理由	A.順調に推移している 適切に維持管理ができていないため。 A.有効的である(改善の余地がない) A.効率的である(改善の余地がない) 適切な公園の維持管理の確保が出来ている。			
	地方債								
	その他(使用料、証紙収入)	57,127	57,419	1,001					
	うち受益者負担 B	56,575	57,419	1,001					
	一般財源 C	113,517	22,657	68,475					
一般財源比率 C÷A	62.9%	28.3%	98.6%						
受益者負担率 B÷A	31.3%	71.7%	1.4%						

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 都市公園は都市公園法に基づいて「みだりに廃止してはならない」とされている。ただし、借地公園については、所有者の意向で廃止は可能。 借地公園は地域のニーズも強い折り返しがつかないのが現状 少子高齢化、人口減少社会が進む中、公園1人当たり面積(1.0㎡/人以上)も相対的に増加する。 	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>1人当たり面積(1.0㎡/人以上)を確保しつつ、誘致圏域内に同等の公園がある場合、地域ニーズで公園を存続させるために借地公園が必要かどうか今後の課題である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 池田市の人口規模にあった公園数を見据えながら、安全で安心して利用できる公園として適切な維持管理に努めることは公園管理者の責務である。又、借地公園以外でも統廃合も視野に入れた公園の再配置を含め、現在利用頻度が少ない公園などの売却に伴う財源確保など、質の向上を検討する必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	開設公園維持管理事業				財務会計上の事業名	開設公園維持管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	2	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	開設公園の適切な維持管理を行う。
めざす姿(目標)	適切な維持管理を行うことで、安全に利用できる公園づくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	開設公園
事業の手段・方法(どのように)	(一財)池田みどりスポーツ財団に補助金を支出し、維持管理業務を実施している。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)				
	(決算)	(決算)	(予算)									
事業費(千円) A	235,692	228,476	0	苦情・陳情処理件数	518件	401件	300件					
主な内訳												
補助金	235,692	228,476	0									
☆成果の達成状況					B.順調に推移していない							
財源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	市民等からの苦情・要望が多岐にわたるため処理に要する時間が増加しており、市内一円の公園の適切な維持管理に苦慮している状況。							
	地方債											
	その他(使用料、寄附金)	956	1,513						☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
	うち受益者負担 B		1,513						☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
	一般財源 C	234,736	226,963						・上記「有効性・効率性」選択の理由	(一財)池田みどりスポーツ財団内の道路、河川、水路及びみどりの管理区分を廃止し、作業区分でまとめることにより日常管理や緊急時の対応等について、より効率的に作業ができる可能性がある。		
一般財源比率 C÷A	99.6%	99.3%										
受益者負担率 B÷A		0.7%										

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現況と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>①平成29年6月の都市公園法の一部改正に伴い、民間活力を導入することで、新たな公園行政が求められるようになっている。 ②令和2年4月からはすべての都市公園において指定管理制度を導入。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>今後も開設公園の良好な状態を維持するためには、現在ある公園を機能別に整理し、適切な維持管理を実施する必要がある。 また、都市公園法の改正に伴い、民間活力を導入し、コスト面だけでなく、市民サービスのさらなる向上と魅力向上のために、今後は、現在の指定管理者制度と合せて、市民満足度の向上を図っていくため、P-PFI制度も検討していく必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 利用状況の把握等を行った上で、ニーズの少ない公園の統廃合やニーズの高い公園の質の向上を検討する必要がある。 令和2年4月より都市公園パークマネジメント共同企業体とパートナーシップとなり、各公園の利活用を検討する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	開設公園改修工事事業				財務会計上の事業名	開設公園改修工事
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	3	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	公園灯やフェンスなど、老朽化した開設公園施設の改修工事を行う。
めざす姿(目標)	都市公園の補修・改修を進めることで、遊具の長寿命化を図り、安全な公園づくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	開設公園
事業の手段・方法(どのように)	開設公園の再整備工事及び大規模改修
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	27,648	42,955	44,000	補修件数		5件/年	5件/年	14件/年
主な内訳								
請負費	27,648	42,955	44,000					
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	適切に工事を実施している。		
	地方債					A.有効的である(改善の余地がない)		
	その他()					A.効率的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B					適切に工事を実施している。		
	一般財源 C	27,648	42,955			44,000	A.効率的である(改善の余地がない)	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	☆上記「有効性・効率性」選択の理由				
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>公園施設の老朽化により、全国的に事故が多発している。平成29年6月に都市公園法の一部が改正され、公園施設の点検の実施、それに伴う点検結果や修繕履歴の記録が義務化され、公園管理の一層の強化が求められている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>今後も遊具の長寿命化を図り、市民が安心して利用できる都市公園の補修・改修を進めていく必要がある。あわせて、今後の維持管理費用の増大が見込まれる中、本当に必要な公園施設を検討し、再編成も必要である。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 点検を実施し、損傷の推移を適切に管理し事故を未然に防ぐ管理手法である予防保全型を導入し、効果的な整備工事を実施する必要がある。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	開設公園再整備事業				財務会計上の事業名	開設公園再整備事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	4	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	都市公園施設のリニューアルだけでなく、防災機能の向上及びバリアフリー化を計画的に行う。
めざす姿(目標)	防災面やバリアフリーを兼ね備えた、地域の多様なニーズに対応する公園整備を行うことで、地域住民に親しまれる公園づくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	開設公園
事業の手段・方法(どのように)	公園施設の老朽化に伴い、計画的なリニューアル工事
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)				
	(決算)	(決算)	(予算)									
事業費(千円) A	74,304	0	0	☆成果の達成状況	A.順調に推移している	6件/年	0件/年	0件/年				
主な内訳	請負費	74,304	0						・上記「達成状況」選択の理由	適切に工事を実施している。		
											☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある
	うち受益者負担 B											
一般財源 C	41,204	0	0	・上記「有効性・効率性」選択の理由	人口規模、職員数に沿った適切な管理が行えるよう、利用の少ない公園などの統廃合を検討していく必要がある。							
一般財源比率 C÷A	55.5%											
受益者負担率 B÷A												

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現況と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>①公園利用者の多種多様なニーズが公園に求められる。 ②本市は小規模の公園が多く、全ての地域住民のニーズを反映することは限界がある。 ③少子高齢化、人口減少により、住民1人当たりの公園面積(10㎡/人以上)も相対的に増えている。 ④昭和30年～40年に設置された公園が多く、老朽化が進んでいる。 ⑤全国的には地域のニーズなど状況を踏まえて、面的なインフラ整備計画の中で統廃合や集約など再編による見直しが求められている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>今後は遊具の長寿命化計画の見直しを図り、より市民が安心して利用できる都市公園の補修・改修を進めていく必要がある。 あわせて、今後の維持管理費用の増大が見込まれる中、本当に必要な公園施設を検討し、再編成も必要である。その中で必要な公園について適切に更新していく必要がある。 地域毎にさまざまな意見があり、総論賛成・反対になりやすく、それらの地域住民の意見などについて合意形成を図る必要がある。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 老朽化された遊具は旧基準で設置されているが、現行基準では安全領域上、同等規模の遊具設置は不可となる場合が多く、地元説明に苦慮している。 地元住民のニーズにあわせながら、一方では限りある資源を有効に活用し、住民の合意形成を図るために、日頃から地域住民とのつながりを持ち、信頼関係を築きながら住民とともに公園行政を進める。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	(仮称) 満寿美公園用地取得事業				財務会計上の事業名	公園用地取得事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	5	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	池田駅周辺の住生活環境の向上と市民活動の活性化などの拠点整備のため、公園用地を取得する。
めざす姿(目標)	公園整備を行うための用地を取得し、住生活環境の向上と市民活動の活性化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	都市計画公園区域内の建物所有者、土地所有者
事業の手段・方法(どのように)	地権者と用地買収に向けた交渉を行う。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市都市計画マスタープラン ・阪急池田駅周辺地区都市再生整備計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	12,132	773,609	0	積
主な内訳	鑑定料/委託料	12,132	5,755	
	土地購入費		684,640	
	補償金		83,214	
財源				
国・府支出金		404,776		☆成果の達成状況
地方債		307,700		
その他()				
うち受益者負担 B				
一般財源 C	12,131	61,133		
一般財源比率 C÷A	100.0%	7.9%		・上記「有効性・効率性」選択の理由
受益者負担率 B÷A				

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
(仮称) 満寿美公園用地面積	0.0ha	0.2ha	0.2ha
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	地権者との協議を行い、用地取得を行った。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	地権者との協議を行い、用地取得を行った。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>令和元年度に満寿美公園の用地取得が完了。令和2年度以降の事業は廃止。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>廃止</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 令和元年度に満寿美公園の用地取得が完了したため。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	石橋南公園整備事業				財務会計上の事業名	石橋南公園整備事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	6	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和2年度
事業内容	老朽化した市営石橋住宅の建替えに伴い、石橋南公園を整備する。
めざす姿(目標)	令和2年度中に石橋南公園の整備を完成させる。
事業の対象(誰を、何を)	市民
事業の手段・方法(どのように)	公募型プロポーザルにより事業者を選定し、事業を実施。
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	・池田市市営住宅長寿命化計画

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	6,912	53,422	46,587	整備工事	-	-	進捗率21.5%	完了	
主な内訳	設計委託料	6,912							
	監理委託料		934						795
	請負費		52,488						45,792
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	計画通りに進んでいるため。				
	地方債								
	その他()				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
	一般財源 C	6,912	53,422		46,587	事務処理の軽減が図られたため。			
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由					
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>工事は順調に進んでおり、令和2年度に竣工する予定である。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
	<p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》</p> <p>竣工後は、適切に維持管理を実施していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	五月山動物園整備事業				財務会計上の事業名	五月山動物園整備事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	7	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和2年度
事業内容	ウォンバット受け入れ効果により来場者の増加が見込まれる中、動物の飼育環境や行動展示の改善のため園舎を改修する。
めざす姿(目標)	来場者の増加による動物の飼育環境や行動展示の改善のため園舎を改修することで、ウォンバットが増えても対応できる園舎にする。
事業の対象(誰を、何を)	五月山動物園
事業の手段・方法(どのように)	動物の飼育環境や行動展示の改善のため園舎を改修する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	3,024	4,730	0	来園者数	564,721人/年	492,542人/年	567,000人/年	
主な内訳								
請負費	3,024	4,730	0					
財源				☆成果の達成状況	B.順調に推移していない			
国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	ウォンバット受け入れ効果により、来場者の増加を図る。ただし、令和元年度はコロナウイルス感染症等で来場者数が減。			
地方債								
その他(寄附金)		4,730		☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	3,024	0	0	・上記「有効性・効率性」選択の理由	ウォンバット受け入れ効果により、来場者の増加が見込まれる中、動物園の飼育環境や行動展示の改善のため園舎の改修を実施する。			
一般財源比率 C÷A	100.0%							
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>①平成29年に3頭のウォンバットをオーストラリアから受け入れた。 ②現在(令和元年度末)5頭を育てており、日本全国の7頭中5頭が五月山動物園に飼育されており、日本ウォンバットが多い動物園である。ウォンバットのワンターは令和元年11月25日に死亡したが、ワインは日本のウォンバットの中で最長寿となる。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
ウォンバットエリアを改修し、動物園としての魅力を高め、より一層動物園としての魅力を高めるために、観光部局と連携を強化し利用者のニーズに対応した整備を進めるとともに、老朽化している施設のリニューアルも視野に計画的に改修していく必要がある。 また、市民サービスのさらなる向上と魅力向上の起爆材として、動物園のポテンシャルを活かすため、都市公園法の改正に伴う民間活力を導入し、有効に活用する施策が必要となる。	<p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 来場者数が増加し、五月山動物園は昭和33年に整備されて以来、リニューアルを行っていないため施設の老朽化も激しく全体的なリニューアルが必要。またウォンバットのワインが世界一の最長寿になることにあわせて、全世界にPRすることが池田市のPRにつなげていく。(世界では、オーストラリアにパトリック32歳で世界ギネスに認定されているが、ワインは現在(令和元年度)31歳であり、世界最長になる日も近い。)</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	五月山緑地施設管理運営事業				財務会計上の事業名	五月山緑地施設管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	8	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	五月山緑地施設の適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、アウトソーシングをすることで、より効率的な事業運営を行う。
事業の対象(誰を、何を)	五月山緑地
事業の手段・方法(どのように)	五月山緑地の効率的な運営
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A	360,534	374,932	187,519	幹線園路利用台数 都市緑化植物園利用者数 動物園来園者数	123,222台/年	119,205台/年	125,000台/年		
主な内訳	指定管理料	360,534	374,932		89,297人/年	78,994人/年	90,000人/年		
					564,721人/年	492,542人/年	57,000人/年		
☆成果の達成状況					A.順調に推移している				
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか ☆事業は効率的に実施できているか ・上記「有効性・効率性」選択の理由	適正な運営管理がされている。				
	地方債				A.有効的である(改善の余地がない)				
	その他(使用料)	89,466	99,480		58,321	A.効率的である(改善の余地がない)			
	うち受益者負担 B	89,466	99,480		58,321	フオンバット受け入れ効果等により、動物園を含めた五月山緑地の来場者の増加が見込まれる中、動物園を含めた公園施設の改修を実施する。			
	一般財源 C	271,068	275,452		129,198				
一般財源比率 C÷A	75.2%	73.5%	68.9%						
受益者負担率 B÷A	24.8%	26.5%	31.1%						

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月に向けて、補助金制度を見直し、全ての公園施設を指定管理者制度の導入に向けて進めている。 平成29年6月の都市公園法の改正に伴い、民間活力を導入し、パークマネジメントによる公園の利活用するなど、新しい公園行政が求められている。 	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>今後も遊具の長寿命化を図り、市民が安心して利用できる都市公園の補修・改修を進めていく必要がある。あわせて、今後の維持管理費用の増大が見込まれる中、本当に必要な公園施設を検討し、再編成も必要である。公園の魅力を高め、市民サービスのさらなる向上と公園管理のコスト削減を目指す。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 計画的な点検を実施し、損傷の推移を適切に管理し事故を未然に防ぐ管理手法である予防保全型を導入し、効果的な整備工事を実施する必要がある。 指定管理者制度や都市公園法の設置管理許可など制度設計を見直した五月山パークマネジメント方針に沿って、公園運営管理ができる民間事業者とパートナーシップをもって魅力ある公園行政を進める。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	五月山緑地整備事業				財務会計上の事業名	五月山緑地整備事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	9	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	五月山マネジメント方針に沿って、民間活力を導入し、五月山緑地整備事業を展開する。
めざす姿(目標)	五月山マネジメント方針に沿って、魅力ある五月山緑地の整備を進める。
事業の対象(誰を、何を)	五月山緑地
事業の手段・方法(どのように)	五月山緑地内の施設の整備
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	0	158,103	137,754		工事の件数	0件	1件	1件
主な内訳	委託料	0	0	12,460	耐震性貯水槽の設置	-	1箇所	完了
	工事請負	0	155,133	125,294	備蓄倉庫の設置	-	0箇所	完了
	補償補填及び賠償金	0	2,970	0	駐車場台数	174,333台/年	149,617台/年	178,500台/年
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	五月山緑地の整備は、池田市の観光面、防災面及び景観性の向上に大きく寄与している。		
	地方債		158,000	122,200		☆目標達成のための有効な事業内容となっているか		
	その他()				B.改善の余地がある			
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか			
一般財源 C		103	15,554	・上記「有効性・効率性」選択の理由	平成22年度に策定した基本計画に基づき事業を推進してきたが、今後は民間活力を導入し、五月山マネジメント方針に沿ってパークマネジメント業者とともに、今後の五月山緑地のあり方について検討していく必要がある。			
一般財源比率 C÷A		0.1%	11.3%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)	
<p>①近年、ゲリラ豪雨や台風により五月山緑地の法面崩壊が連続して発生しており、また落石による車両の破損事故も発生している状況。</p> <p>②五月山緑地内の紅葉大橋や動物園へアクセスするコンクリート橋など経年劣化による補修が急務の状況。</p> <p>③五月山公園は、観光シーズンは多くの方が利用し、遊具等公園施設を少しずつ更新しているが、まだまだ経年劣化が目立っている施設が多い状況。</p>	
目標達成に向けた課題	課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性
<p>近年、ゲリラ豪雨や台風により五月山緑地の法面崩壊が発生しているため、防災上の観点から早急に危険度の高い法面の把握が必要となる。</p> <p>また、五月山マネジメント方針に沿って、民間活力を導入し、これまでになかったにぎわいを創出する施策を考えないといけない。</p>	<p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》</p> <p>ゲリラ豪雨や台風などの大規模災害に対して、防災上の観点より法面点検を早急に実施し、危険度の高い法面の把握した上で、計画的に整備を進める。</p> <p>また民間活力を導入し、民間のノウハウをフルに活用し、多様化する市民ニーズに対して、より効果的で効率よく対応していくと共に、五月山緑地のにぎわい創出することができる施策を検討し、あわせてみどり豊かな池田市民のシンボルである五月山をレクリエーションの場、憩いの場をテーマにした五月山基本構想に沿った整備計画を進めていく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	猪名川運動公園管理運営事業				財務会計上の事業名	猪名川運動公園管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	10	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	猪名川運動公園、猪名川緑地駐車場の適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、アウトソーシングをし、効率的な管理運営を行う。
事業の対象(誰を、何を)	猪名川運動公園、猪名川緑地駐車場の適切な管理運営を行う。
事業の手段・方法(どのように)	猪名川運動公園、猪名川緑地駐車場の効率的な運営
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)
	(決算)	(決算)	(予算)	
事業費(千円) A	22,286	23,299	0	
主な内訳	指定管理料	22,286	23,299	0
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他(使用料)	22,286	23,299	
	うち受益者負担 B	22,088	23,109	
	一般財源 C			
一般財源比率 C÷A				
受益者負担率 B÷A	99.1%	99.2%		

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
公園利用者数	117,678人/年	108,734人/年	120,000人/年
駐車場利用者数	57,775台/年	62,422台/年	58,000台/年
☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
・上記「達成状況」選択の理由	適正に管理運営している。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	指定管理施設として適正な管理運営になっている。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>公園内の運動施設としては、猪名川運動場を含む複数のスポーツ施設を令和2年4月よりスポーツ施設として指定管理を1つにまとめた事で、利用者の利便性の向上につながっている。 また、施設が老朽化してきている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設が1つの指定管理になったが、市庁内の所管が一元化されておらず、利用者からも分かり難い。 ・老朽化対策のための計画と財源が必要。 	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>廃止</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 スポーツ施設の指定管理の一元化だけでなく、行政サイドもスポーツに特化した部局を新設し、市民に分り易い組織が必要である。 また、施設を維持していくためには、施設の更新が必須。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	夫婦池テニスコート管理運営事業				財務会計上の事業名	夫婦池テニスコート管理運営事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	11	担当部署名	公園みどり課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和元年度
事業内容	夫婦池テニスコートの適切な管理運営を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度により、アウトソーシングを行い、効率的な管理運営を行う。
事業の対象(誰を、何を)	夫婦池テニスコート
事業の手段・方法(どのように)	夫婦池テニスコートの効率的な運営
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度
	(決算)	(決算)	(予算)
事業費(千円) A	17,431	19,800	0
主な内訳	指定管理料	17,431	19,800
財源	国・府支出金		
	地方債		
	その他(使用料)	17,431	19,800
	うち受益者負担 B	17,055	19,460
	一般財源 C		
一般財源比率 C÷A			
受益者負担率 B÷A	97.8%	98.3%	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R2年度)
	利用者数	64,218人/年	54,225人/年	—
	☆成果の達成状況	A.順調に推移している		
	・上記「達成状況」選択の理由	適正に管理運営している。ただし、令和元年度はコロナウイルス感染症等で利用者が減。		
	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
	・上記「有効性・効率性」選択の理由	指定管理施設として適正な管理運営になっている。		

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>公園内の運動施設としては、夫婦池テニスコートを含む複数のスポーツ施設を令和2年4月よりスポーツ施設として指定管理を1つにまとめた事で、利用者の利便性の向上につながっている。また、施設が老朽化してきている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ施設が1つの指定管理になったが、市庁内の所管が一元化されておらず、利用者からも分かり難い。 ・老朽化対策のための計画と財源が必要。 	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>廃止</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 スポーツ施設の指定管理の一元化だけでなく、行政サイドもスポーツに特化した部局を新設し、市民に分り易い組織が必要である。 また、施設を維持していくためには、施設の更新が必須。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	霊園管理運営事業				財務会計上の事業名	霊園管理運営事業
第3期実施計画の区分 章/節(施策)/項目/事業番号	3	5	2	12	担当部署名	総合窓口課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第5節良好な自然環境を生かしたまちづくり				
	項目	項目2都市計画公園の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	五月山霊園の適切な維持管理を行う。
めざす姿(目標)	指定管理者制度を導入することで、質の高いサービスの提供をめざす。
事業の対象 (誰を、何を)	墓地使用权者及び墓参者
事業の手段・方法 (どのように)	指定管理者による維持管理業務
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	五月山霊園使用条例

3 事業費等

区分	H30年度 (決算)	R元年度 (決算)	R2年度 (予算)	指標 値 (活動・ 成果)
	事業費(千円) A	13,002	11,162	
主な内訳	指定管理料		10,255	
	修繕料	3,127	502	500
	植栽管理委託料	4,007		
財源	国・府支出金			
	地方債			
	その他(管理料)	13,002	9,870	288
	うち受益者負担 B	13,002	9,870	288
	一般財源 C		1,292	10,482
一般財源比率 C÷A		11.6%	97.3%	
受益者負担率 B÷A	100.0%	88.4%	2.7%	

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)
利用者数	3,000人/年	2,075人/年	3,200人/年
☆成果の達成状況	C.判断できない		
・上記「達成状況」選択の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少したため。実績の数は墓参バスの乗車人数であり、自家用車でお墓参りをしている人数は不明である。		
☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
・上記「有効性・効率性」選択の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者数が減少したため。		

5 事業の現況と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>近年、墓地の承継者不足により、永代供養に変更される方が増えてきており、保有している墓地の返還件数が増加している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>お盆・お彼岸の墓参バスの乗車人数は把握できるが、自家用車等での墓参の人数が把握できない。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 本事業をとりまく状況を見ながら指定管理者と協議等を行う。</p>